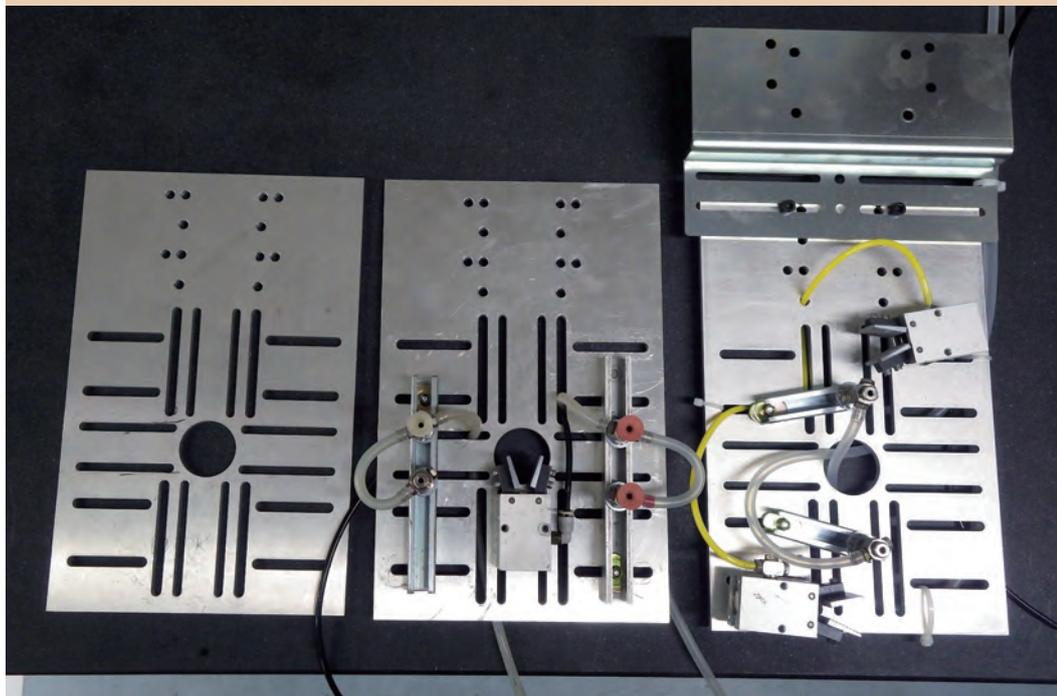


## 株式会社 野中製作所

他社では難しい特殊製品の  
安定供給で顧客に応える

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



独自製作の汎用アタッチメント (実用新案申請中)

**業務内容**  
幅広い業種の支え役へ  
大きな存在価値

「野中製作所」は射出成形により薄物や透明品、エンジニアプラスチックなど多種多様な精密プラスチック製品を製造する。なかでも樹脂に付加価値を持たせる添加剤であるファイラー入りの材料は単価が高く、ロスが出た際のリスクが高いため他社では受けにくいのが、同社ではその扱いを得意としている。

製品の寸法精度では誤差を±0.001mm以下に抑え、不良品の少なさと耐久性の面からも評価は高い。自動車やアミューズメント、航空機、家電など幅広い業種で採用され、先端産業における縁の下の力持ちとして大きな存在感を放っている。

**強み**  
社長自らの営業展開で  
納期の短縮を実現

最新設備の導入にも力を入れている。扱う材料が特殊なため標準タイプの射出成形機では対応できないことから、メーカーと共同で設備の改良も行った。さらに成形機だけでなく、周辺機器やクラス10,000のクリーンルームも完備し、レベルの高い設備環境を整えていることも強みだ。積極的に自動化を進めて不良率の低下やコスト削減を実現し、顧客の厳しい要求に応えている。

一方、同社に営業担当者はおらず、野中恒夫社長自らが顧客に向かい行く。40年の経験から、図面を見たその場で見積もりを試算。社長自身の判断による即応が可能で、急ぎの仕事にも対応できるほか納期短縮にもつながっている。

**人材育成**  
経験則を明文化し  
成形精度向上へ

プラスチック成形は、季節や時間などの自然

環境が寸法精度に影響を与えるものの、すべての現象がマニュアルに載っているとは限らない。特殊材料の扱いでは経験を重ねないと習得できないことも数多くあるため、24時間体制の同社では朝夕の交代時にその日の出来事を発表し合う。野中社長をはじめ熟練者がそれをもとに指導し、マニュアルに反映して教育を行っている。また、機械や設備の高度化により、機械のオプションも増えている。精密成形にはこれらの設備を使いこなせることも重要で、社内研修会などを通してオペレーターの育成にも注力している。

**後の展望**  
さらなる付加価値目指し  
働く環境づくりに注力

「他社では難しい特殊製品や精密製品などにさらに特化したい」と、野中社長は意欲的だ。それには教育に加え、働く環境づくりや活発なコミュニケーションも重要だととらえている。仕事とのメリハリをつけるため、今後は福利厚生面も充実させる方針だ。野中社長は「機械や設備はお金で買えるが、人はそうはいかない」と、人材と環境づくりの大切さを語る。次世代への事業承継については技能の受け渡しをある程度済ませており、将来の不安は感じていない様子だ。「定年で退職したい」と述べる言葉とは裏腹に、今後の会社づくりに熱い思いを見せている。



成形機の生産チェック



自動機のロボット調整

## 当社の歴史



昭和52年に大阪市鶴見区で創業。当初から「お客様が要求される以上の製品を安定して供給することが会社の発展につながる」という理念のもと操業してきました。その結果、現在は高付加価値製品の比率が高まっています。今後はより特殊で精密な製品を製造していきたいと考えています。

代表取締役 野中 恒夫さん

<http://www.nonakass.com/>

## 主な事業内容

プラスチックの薄物、透明品  
や特殊エンブラ製品の成形

## 主な取引先(納入先)

光学部品メーカー、自動車メ  
ーカー、航空機部品メーカー、  
家電メーカー

- 住所 〒577-0016  
東大阪市  
長田西5-1-15
- TEL 06-6747-1118
- FAX 06-6747-1188
- 創業 昭和52年4月
- 設立 昭和59年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 42名